



平成21年11月1日発行 第9号

国臨協関信支部茨城地会

発行責任者 渡司 博幸(霞ヶ浦)

編集 桑村 良隆(霞ヶ浦)

岩崎 康治(水戸)

椎名 将昭(茨城東)

新人紹介

霞ヶ浦医療センター 渡司 博幸



《頑張ろう》

平成16年度に独立行政法人国立病院機構へ移行し瞬く間に5年が過ぎ、今年度からさらに5ヵ年間の第二

次中期計画(目標)が策定されスタートしました。第一期中期目標期間においては、国立病院機構としては黒字を計上したそうです。貴施設での現状はいかがでしょうか？

病院の運営・経営をはじめ検査科の運営、経営はいかがでしょうか？何となく医師不足を始め、病院のおかれている環境は厳しい様に思いますが。？県下3施設の中でも目標達成の施設もあれば再生プラン対象施設などさまざまです。再生プラン施設において平成20年度に改善目標を達成できなかった施設は再生プラン第二次追加方針策

定へと進んでいます。非常に“キビシイ”状態です。

最近“検査科の存続”ブランチャボやFMSなどから、検査科が生き残りどころではなく、“病院の存続”病院の生き残りについて考えるような施設状況もあるのではないのでしょうか。

このような現状の中だからこそ、私達、臨床検査技師は、検査科は大いに技師の存在や検査科の存在をアピールするチャンスではないのでしょうか。そこで、私達 NHO に勤務する臨床検査技師としてまず、「技術の向上」そして、それに伴う「多くの知識」さらには、他職種や関連施設、人と人との「連携」を心がけていきたいものです。支部や地区会での勉強会・交流会をおおいに活用し頑張しましょう。

《感謝》

4月1日付けで霞ヶ浦医療センターへ赴任いたしました、「わたし……………」渡司博幸です。実は昭和の時代に「国立霞ヶ浦病院」に7年間お世話になりました。当時、色々、ご指導いただいた皆様と再度仕事ができることに大変感謝しております。

さて、4月に赴任してからあっという間に半年が過ぎました。霞ヶ浦医療センターの検査科スタッフは個性豊かな素晴らしい人が多く、良きスタッフに出会えた事に心から感謝しています。現在、毎日ご指導を頂きながら頑張っております。

《生まれは》

出身は宮崎県の都城です。『どげんかせんといかん』のH知事と同郷です。多分、渡司という名前は一度覚えたらきつと忘れることのできない名前だと思います。ぜひ覚えていただけると光栄です。カーナビで霧島山(鹿児島県と宮崎県の県境)の麓に「渡司」と言う地名がありますので検索して見てください。家のすぐ近くですが、残念な事に家の土地ではありません。(…当然の事) だいぶ田舎です。

こんな田舎者ですが茨城地区会のみなさまとこれから一緒に頑張っていくしますので今後とも宜しくお願い致します。

水戸医療センター



岩崎 康治

4月1日付で埼玉病院より昇任で参りました岩崎と申します。茨城地区会の皆さまに一言ご挨拶

申し上げます。

どのような内容で皆さまにご挨拶しようかと悩みますが、おもしろみのない自己紹介でご勘弁ください。

北海道の網走に近い美幌という人口2万5千人程の小さな町で生まれ育ち、隣町(北見市)の高校を卒業後、何を血迷ったか宇都

宮の技師学校へ進学いたしました。

なぜ宇都宮なのかは、今となっては自分でも謎の記憶となっております。

技師学校卒業と同時に、恩師の紹介により旧水戸病院の産休代替要員として採用していただいたのが技師生活の始まりであります。それから転々とし、再び茨城へということであります。と言っても26年前のことで記憶が薄く、半年余り経って少し甦ってきたところであります。

趣味は、多趣味と言えれば聞こえがいいのですが、下手な横好き・・・つまり極めたものは何ひとつない訳で・・・ゴルフにスキー、ある事情で出来なくなった野球にテニスとスポーツは何でも囓りました。

他にと言えれば・・・これも極められなかったギャンブル(パチンコに競馬)、酒と普通のオヤジであります。

良き同輩に恵まれ2度目の单身生活も快適までとはいきませんが何とかやっております。

地区会の皆さまには、暫くお世話になることと思いますが、ご指導ご鞭撻を賜いますとともに、末永いお付き合いをお願い申し上げます。

水戸医療センター



萩原 淳

本年1月1日付で国立がんセンター中央病院から水戸療センターへ配置換となりました。茨城地区会の皆様、

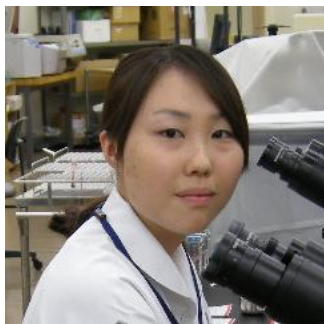
どうぞよろしくお願い申し上げます。

自己紹介を兼ねて、昨年より我が身に起

きたことを1つ紹介したいと思います。最近、「歴女」と呼ばれる歴史好きの女性が増えていると話題になっています。私、女性ではないのですが、歴史小説にはまっています。がんセンター在職中にタバコをやめ、それまでタバコを買っていたお金で週に2冊のペースで文庫本を買い読み続けました。おかげで年間100冊を突破し、家では本の置き場所に困ると苦情が出ています。水戸に引越しをしてからは、電車通勤から車での通勤に変わりましたので、さすがに週一冊に減っています。本を読むことぐらいしか趣味らしきものはなく、なんの取り柄もありませんが、これから皆様と交流を深められるよう頑張っていこうと思っています。

話は変わりますが、皆様御存知のとおり水戸医療センターの臨床検査科は2交替勤務体制です。着任して以来9ヶ月間、ただただ1日も早く戦力となれるよう精一杯努力してまいりました。今後は地区会のメンバーの1人として会の発展のために少しでも力になればと考えております。皆様、御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

水戸医療センター



佐藤 恵子

平成20年12月より、水戸医療センターに配属になりました佐藤恵子と申します。採用になるまでの8ヶ月間は国

際医療センター戸山病院で非常勤職員として勤務していました。

出身は東京都足立区でチャキチャキの江戸っ子・下町娘です。一人暮らしをするのは今回が初めてで、東京と水戸とのギャップに苦労しながら、不安だらけのスタートでした。特に、今までの交通手段がほとんど電車、バスだったため車をもっていなかったのですが、水戸に来て車がないと生活できないことを痛感しました。ようやく今年の2月に車を購入したのですが、ペーパードライバーということもあり、運転するときは毎回ドキドキしています。最近ようやく一回で駐車できるようになりました！

私の趣味は、映画鑑賞、スポーツ観戦ですが、今一番のマイブームは週に2,3回のランニングです。好きな音楽を聴きながら、病院の周りの住宅地と田んぼをぐるぐる走っています。あとお祭りが大好きで、和太鼓部だったということもあり、上野のお祭りではOB・OGの一員として、マイ半被、マイ足袋で参加しています。

現在、私は血液検査を担当しています。何とか一人で一通り出来るようになりましたが、知識も技術もまだまだ未熟で学ばなければいけないことばかりです。血液が一番好きな分野でもあるので、これからもっと頑張っていきたいです。最後になりましたが、毎日楽しく仕事出来るのは、堀口技師長をはじめ検査科職員の皆さんのあたたかい支えのおかげだと感じております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

水戸医療センター



山田 純一

本年6月1日付で、水戸医療センターに採用になりました山田純一です。3月に神奈川県麻布大学環境保健学

部を卒業、4月から5月の2ヶ月間国際医療センター戸山病院で非常勤職員として勤務していました。

出身は東京の立川で、今回初めて実家を離れ、炊事、洗濯などすべてを自分でしなければならず最初は苦労しました。今では家事にもなれ一人暮らしを満喫しています。実家を離れ初めて、家族への思いをあらためて感じる事ができました。

趣味は料理とツーリングで、仕事が終わる官舎へ歩いて帰りながら今夜は何を食べようかな？と考えています。最近は料理本を見ながらレパートリーを増やしている日々です。休日はバイクで病院周辺に良い場所がないか探索していて、最近のお気に入りの場所は大洗海岸、筑波山です。病院の周辺は実家のある立川とは違い自然が多く残っているのどかな雰囲気を楽しんでいます。これからは未体験の事にも挑戦して趣味の幅を広げていこうと思っています。

現在は、一般検査を担当しています。勤めて4ヶ月経ちますが、知識も技術もまだまだ学ばなければいけない事ばかりです。わからない事だらけですが、今自分に出来る事、しなければいけない事を良く考えて焦らずに一つずつ確実に乗り越えていきたいと思います。

ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

茨城東病院



樋口 久晃

平成20年4月1日付で千葉医療センターから昇任でまいりました。はじめての技師長職、おまけにはじめての

単身赴任ということで不安と緊張で茨城の地にやってまいりました。確かに技師長職の方はやることなすことがはじめてで時間だけが過ぎていくようでした。しかし、幸いにも恵まれたスタッフのおかげで、なんとか業務をこなしています。また、幹部の方々や臨床医の方々もとても親しみやすく、アフターファイブ(テニス、バーベキュー、単なる飲み会等)でもお付き合いさせてもらっています。そのおかげで、いろいろな会議でも安心して発言できます。前施設は新病院建設のため一番忙しい時に異動になって申し訳なかったのですが、技師長は頼りになる専門職、新しい副技師長もやる気満々、スタッフの協力も十分ということで、安心して新天地にすることができました。

3年前に同僚が茨城地区のある病院に異動になって、早く都内近郊に戻ってくるように言った矢先に私自身が茨城地区に異動になってしまい、同僚とは笑い話になってしまいました。週末には奥さん、子供、犬、兎、鳥、魚の世話やサッカー(フットサル、指導)をしに常磐道を使って帰っています。150km、1時間40分、ETC割引(夜間早朝割引)使用でほぼ毎週帰っています。おかげで愛車も走行距離が175,000km(12年目)を超えてしまいました。そろそろ休ませてあげたいと思っています。茨城東病院は病院機能評価取得、地域医療連携病院、

茨城県がん診療指定病院、一般病棟入院基本料 10 対 1 取得、収支も上向き、検査科の年間取り組み事項の目標数値も上回って病院全体が活気づいています。この調子でいくと年度末賞与が貰えるかもしれません。検査科職員 9 名で、生理検査、病理検査、細菌検査、検体検査の 4 つの部門で力を合わせて頑張っています。今後ともよろしくご指導、ご鞭撻お願いも申し上げます。

茨城東病院



椎名 將昭

平成 21 年 4 月 1 日付けで、東京医療センターより昇任で参りました椎名將昭です。はじめまし

ての方も多いかと思いますが、“ご無沙汰しています”の方も多くいらっしゃると思います。旧国立水戸病院で賃金職員として 4 年間働いて以来、十数年ぶりに茨城地区会にお世話になります。また学生実習の際にお世話になった大先輩！？も同じ地区会にいらっしゃいました。世間は狭いですね。

出身は東京の葛西です。都心からですと荒川を渡るので、千葉県？と認識しておられる人も……れっきとした東京都です。近くには葛西臨海公園や車で 10 分位走ると東京ディズニーリゾートもあり、なかなかの場所ですよ！現在は、妻がこちらの出身ということもあり、水戸に家を構え、家族で暮らしております。(別に尻に敷かれていた訳ではありませんが)就職したての頃、都会で育った私にとって水戸は？？でした。夜 8 時になると真っ暗になってしまう駅からの大通りだったり、手を挙げても止まっ

てくれないタクシーだったり……でも、住めば都で、田んぼや畑が見えるのんびりとした生活、車好きの私にとってはこの上ない車社会に魅了され、気が付けば水戸に住むことになっていました(笑) 毎日の 40～50 分の通勤ドライブは、私にとっての至福の時間になっております。

茨城東病院では、主に病理検査を担当しております。やっと一人部屋の業務にも慣れ、自分のペースで仕事をこなせる様になりました。今後は、病理検査だけでなく他の部署のバックアップ等もこなせるよう努力していきたいと思います。また、会員の皆様と地区会を盛り上げていきたいと思っておりますので、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

編集後記

今年も『いばコミ』を無事に発行する事ができ、ホッとしております。私の最近のマイブームは意外にも本を読む事で、足繁く図書館に通っています。今ではインターネットで本の検索はもちろん、県内の図書館の本を近くの図書館で借りる事もできるんですよ。“読書の秋”皆さんも自分の 1 冊を見つけてみてはいかがでしょうか。

(記：椎名)

